

自：2022年4月1日～至：2023年3月31日

ごあいさつ

初夏の日差しが爽やかな季節を迎え、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当金庫第100期の決算をご報告申し上げるにあたり、平素のご愛顧とお引き立てに対して、心より厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染抑制と経済活動の両立に向け進み始めた中、コロナ禍からの世界同時的な景気回復やウクライナ情勢などを契機として原材料価格やエネルギー価格が高騰し、国民生活や企業経営に大きな影響を及ぼしました。

このような状況下、当金庫は中小企業専門の協同組織金融機関として、コロナ禍や原材料価格・エネルギー価格の上昇等に影響を受けた地域の中小企業等を支援することが何より重要であるとの方針のもと、事業者の資金繰り支援はもとより、販路拡大支援や経営改善支援などの各種課題解決支援にも全力で取り組んでまいりました。

当期の業績は、預金は対前期10億97百万円増加し867億38百万円となり、貸出金は対前期3億58百万円増加し238億60百万円となりました。

損益面では、経常収益は、低金利環境下、貸出金利息などの資金運用収益が減少しましたが、貸倒引当金の戻入等が発生したことから、対前期21百万円増加し8億14百万円となりました。一方、経常費用は、経費や貸倒引当金繰入額等が減少したことから、対前期7億34百万円減少し6億56百万円となりました。この結果、経常利益は1億58百万円となり、法人税等の税金を差し引いた当期純利益は1億48百万円となりました。

また、金融機関の安全性、健全性を示す自己資本比率につきましては、16.45%となり、国内基準4%を大きく上回っております。

信用金庫は、地域の事業者や市民の皆様を金融面から支え、地域経済の活性化に貢献していくことを使命とする協同組織金融機関です。このため当金庫は、日頃から取引先に寄り添いながらニーズの把握に努め、課題解決や収益力改善に向けた支援にも全力を傾注し、金融仲介機能の発揮に努めております。

社会・経済環境が大きく変化する中、当金庫は各種のリスク管理態勢の更なる充実を図りながら収益性向上に向けた取組みを強化し、引き続き取引先の本業支援等を通じて地域経済の活性化に貢献してまいります。

おわりに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2023年6月

理事長 松岡文雄

貸借対照表

第100期 2023年3月31日現在

単位：千円

資産	金額	負債及び純資産	金額
現金	1,369,934	預金積金	86,738,874
預け金	23,832,118	当座預金	2,254,000
買入金銭債権	100,249	普通預金	28,843,474
有価証券	42,063,028	貯蓄預金	50,857
国債	2,148,910	通知預金	205,832
地方債	1,798,071	定期預金	52,488,972
社債	24,796,378	定期積金	2,722,547
株式	116,388	その他の預金	173,189
その他の証券	13,203,280	借入金	295,000
貸出金	23,860,400	借入金	295,000
割引手形	70,767	その他負債	120,375
手形貸付	1,275,948	未決済為替借	18,937
証書貸付	21,909,759	未払費用	19,475
当座貸越	603,925	給付補填備金	1,646
その他資産	510,811	未払法人税等	7,610
未決済為替貸	12,734	前受収益	4,593
信金中金出資金	375,500	払戻未済持分	2,767
前払費用	832	職員預り金	34,720
未収収益	95,806	リース債務	26,770
その他の資産	25,937	その他の負債	3,855
有形固定資産	744,049	賞与引当金	14,354
建物	256,985	退職給付引当金	95,028
土地	442,891	役員退職慰労引当金	72,832
リース資産	26,770	睡眠預金払戻損失引当金	930
その他の有形固定資産	17,402	偶発損失引当金	3,411
無形固定資産	9,393	債務保証	13,382
ソフトウェア	8,011	負債の部合計	87,354,189
その他の無形固定資産	1,382		
繰延税金資産	78,737	出資金	138,828
債務保証見返	13,382	普通出資金	138,828
貸倒引当金	△1,430,272	利益剰余金	5,395,089
(うち個別貸倒引当金)	(△1,281,150)	利益準備金	138,465
		その他利益剰余金	5,256,624
		特別積立金	5,001,000
		(うち事務合理化積立金)	(80,000)
		(うち改築積立金)	(230,000)
		当期末処分剰余金	255,624
		会員勘定合計	5,533,917
		その他有価証券評価差額金	△1,736,272
		評価・換算差額等合計	△1,736,272
		純資産の部合計	3,797,644
資産の部合計	91,151,834	負債及び純資産の部合計	91,151,834

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

第100期〔2022年4月1日から
2023年3月31日まで〕

単位：千円

科 目	金 額
経 常 収 益	814,894
資 金 運 用 収 益	700,258
貸 出 金 利 息	255,384
預 け 金 利 息	35,117
有 価 証 券 利 息 配 当 金	399,926
そ の 他 の 受 入 利 息	9,830
役 務 取 引 等 収 益	60,337
受 入 為 替 手 数 料	33,599
そ の 他 の 役 務 収 益	26,738
そ の 他 業 務 収 益	7,109
国 債 等 債 券 償 還 益	355
そ の 他 の 業 務 収 益	6,754
そ の 他 経 常 収 益	47,188
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	28,038
償 却 債 権 取 立 益	1,365
株 式 等 売 却 益	15,421
そ の 他 の 経 常 収 益	2,363
経 常 費 用	656,472
資 金 調 達 費 用	15,391
預 金 利 息	13,792
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	521
借 用 金 利 息	898
そ の 他 の 支 払 利 息	179
役 務 取 引 等 費 用	39,130
支 払 為 替 手 数 料	9,560
そ の 他 の 役 務 費 用	29,570
そ の 他 業 務 費 用	242
国 債 等 債 券 償 還 損	242
経 費	600,958
人 件 費	350,722
物 件 費	226,313
税 金	23,922
そ の 他 経 常 費 用	748
そ の 他 資 産 償 却	200
そ の 他 の 経 常 費 用	548
経 常 利 益	158,422
特 別 利 益	—
特 別 損 失	131
固 定 資 産 処 分 損	131
税 引 前 当 期 純 利 益	158,290
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	20,038
法 人 税 等 調 整 額	△10,169
法 人 税 等 合 計	9,868
当 期 純 利 益	148,421
繰 越 金（当 期 首 残 高）	107,202
当 期 末 処 分 剩 余 金	255,624

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金処分計算書

第100期〔2022年4月1日から
2023年3月31日まで〕

科 目	金 額
当 期 末 処 分 剩 余 金	255,624,135 ^円

これを次のとおり処分いたします。

剰 余 金 処 分 額	4,522,279 ^円
利 益 準 備 金	363,000
普通出資に対する配当金(年3.0%)	4,159,279
繰 越 金（当 期 末 残 高）	251,101,856

以上のとおり報告いたします。

2023年6月

地域社会とともに発展していく 新湊信用金庫

理事長 松岡文雄
常務理事 北山誠
常勤理事 竹内俊尚
理事 鷲北昭雄
理事 渡孝志
理事 下保隆

以上監査の結果適法かつ正確妥当であることを認めます。

常勤監事 長谷祐哲
監事 長谷川修博
監事 片岡幹夫

(注) 監事 長谷川 修博は信用金庫法第32条第5項に定める
員外監事であります。